

令和7年2月12日(水)

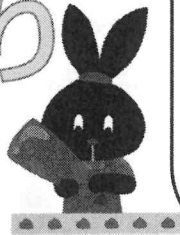
第11号

大泉町立西中学校図書委員会

1-4

亀井芽依・鈴木凧

図書だより

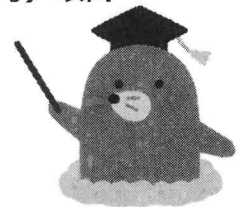


毎日、寒い日が続いていますが皆さん体調にお変わりはありませんか?早いもので、3学期も残りわずかですね。まとめの学期となりますので、やり残したことはないように過ごしてくださいね。

2月の閉館日・蔵書点検について

2月は4日(火)、10日(月)が閉館日となります。また、蔵書点検をする関係で最終貸出日を2/14(金)とさせていただきます。2/17(月)以降は、返却のみとします。その際は、返却BOXを利用してください。

すべての本を、2月中に返却するようお願いします。



開館日数も残り少なくなりますが、皆様のご協力をお願いします。

図書委員さんおすすめの本

ブルーピリオド
1年4組 亀井芽依
主人公、ハ虎の成長や、
本格的な美術用語が
まんがをとおして、
理解できるからです。

芥川賞・直木賞発表

今年の芥川賞・直木賞が発表されました。残念ながら候補作品、受賞作品共に図書室にはないのですが、内容を厳選して入荷できればと思います。

受賞作品を掲載しておきますので、今後の読書活動の参考にしてみてください。

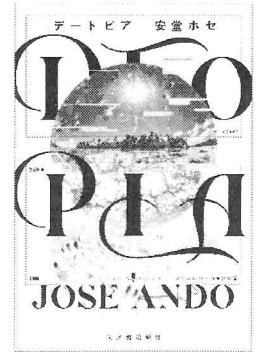
皆さんの気になる作品はあるでしょうか？



○芥川賞○

『DTOPIA』著：安藤 ホセ

恋愛リアリティショー「DTOPIA」新シリーズの舞台はボラ・ボラ島。ミスユニバースを巡って Mr.LA、Mr.ロンドン等十人の男たちが争う――。

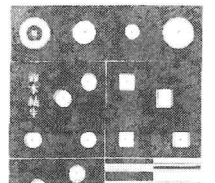


『ゲーテはすべてを言った』著：鈴木 結生

高明なゲーテ学者、博覧強識の統一は、一家だんらんのディナーで、彼の知らないゲーテの名言と出会う。ディー・バッグのタグに書かれたその言葉を求めて、膨大な原典を読み漁り、長年の研究生活の記憶を辿るが…。

一つの言葉を巡る統一の旅は、創作とは何か、学問とは何か、という深遠な問いを投げかけながら、読者を思いがけない明るみへ誘う。

ゲーテはすべてを言った



○直木賞○

『藍を継ぐ海』著：伊与原 新

百年先に帰ってくるかもしれない。懐かしい、この浜辺に――。

徳島の海辺の小さな町で、なんとかウミガメの卵を孵化させ、自分ひとりの力で育てようとする、祖父と二人暮らしの中学生の女の子。年老いた父親のために隕石を拾った場所を偽ろうとする北海道の身重の女性。山口の見島で、萩焼に絶妙な色味を出すという伝説の土を探す元カメラマンの男。長崎の空き家で、膨大な量の謎の岩石やガラス製品を発見した若手公務員。都会から逃れ移住した奈良の山奥で、二ホンオオカミに「出会った」ウェブデザイナーの女性――。人間の生をはるかに超える時の流れを見据えた、科学だけが気づかせてくれる大切な未来。



直木賞受賞作

祝

「宙わたる教室」「八月の銀の雪」など数多くの作品を手掛ける著者による全5篇。